

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまちプロジェクト（教育）	実施期間	H30年度～H34年度	テーマ	教育	新規・継続の区分	新規	
地域における現状、課題及び住民ニーズ		教育に対する社会的な要請は、年々、複雑化、多様化している。さらに、若年層の流出など取り組むべき課題は多く、そのすべてに喫緊の対応を求められているのが現状である。 これまでの与謝野町の教育は、住民、地域、学校、行政など、それぞれの分野に携わる人たちの理解と協力によって支えられ、積み上げられてきたものである。 今後においては、まちのあらゆる分野の人や団体が教育に結集し、地域ぐるみで人づくりを推進し、お互いを高め合うことによって、人口が減少しても地域の未来を創造できる新たな仕組みづくり、与謝野町ならではの教育の構築が求められる。						
プロジェクトの目的及び概要		総事業費（千円）	12,919	本年度事業費（千円）	12,919	交付金額（千円）	5,300	
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	給食センター整備事業	交付対象事業	給食センターの整備			空調設備、炊飯釜、真空冷却機等の修繕		
	知遊館管理運営事業	交付対象事業	知遊館施設整備			冷温水機、高圧受電設備の修繕		
	教育振興事業	交付対象事業	特色ある学校づくりへの補助、学級運営支援、教材の購入			町内の小学校6校中学校1校へ助成、学級満足度調査の実施、社会科副読本購入1,000冊		
	図書館整備事業	交付対象事業	図書購入費			町内図書館の図書購入（2,462冊）		
	教育施設整備事業	交付対象事業	トイレの洋式化			町内の小学校2校の便所改修設計		
	高校魅力化推進事業	関連事業	府立加悦谷高等学校の魅力化に取り組む			小中高連携事業の推進として高校と町内小中学校とのスポーツ交流会を実施		
	放課後学習支援事業	関連事業	学習習慣が身についていない児童に対する支援			町内小学校8校で学習支援講座を237回実施 1,441人の参加者		
児童生徒サポート事業	関連事業	幼稚園、保育所、小学校、中学校へ特別支援員の配置			適応指導教室指導員、特別支援保育士・講師の賃金等運営事業			
住民協働事業	青少年育成事業	交付対象事業	イングリッシュキャンプの実施			町内の小学生23人が参加		
	伝統的建造物群保存対策事業	交付対象事業	旧尾藤家住宅整備、ちりめん街道防災学習会の実施			旧尾藤家住宅の中庭修繕、ちりめん街道防災学習会の実施		
	よさのみらい大学事業（再掲）	関連事業	よさのみらい大学の実施			1コース2学部で全16回実施 601人の参加者		
	国際交流事業（再掲）	関連事業	ウェールズアベリスツイスとの交流事業			ウェールズアベリスツイスへ高校生5名を派遣		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	イングリッシュキャンプ参加者数 H29：10人⇒H33：30人			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年度 23人		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	参加者数は目標数値に満たなかったが、本事業は平成29年度開始の2回目の実施であるなかで町内全小学校からの参加があり成果が出ていると考えられる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	—			(時期)	—	
成果指標②	成果指標の目標数値	伝統的建造物群保存地区修繕景実施件数 5件/年 H29：110件⇒H32：125件			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年：5件/年（累計115件）		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	毎年修理事業計画通り実施できているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	—			(時期)	—	
成果指標③	成果指標の目標数値	図書館利用率（年間貸出人件数／町民） H29：142.5%⇒H32：140%以上			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年度 142.2%		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	図書の購入、7市町の図書館連携の取り組みにより、目標数値が達成できたと考えられる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	—			(時期)	—	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	教育文化施設の環境整備や、教育文化やスポーツに触れ合う機会の創出に努めることで、住民の理解と協力を得られ、積極的な参画に繋がっている。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果		町の行う教育文化・スポーツの環境整備事業だけでなく、関連事業で住民自らが取り組む様々な事業を行うことができ、町全体が一体となって誇らしいふるさとの文化やスポーツを通じて様々な人々と交流する喜びを共有できている。					
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果		町の継承すべき貴重な文化や伝統を住民自らが再発見し、合併後の新町でそれを共有することができた。地方創生推進交付金を活用した「与謝野みらい大学」では、町全体をキャンパスと見立てた3つの学部を運営し住民の学びの場として、住民と行政が協働した取り組みをしており多くの参加者があり成果をあげることができた。					
	リーディング・モデル成果		少子化が進む中で、当町にとって子どもたちは貴重な宝であり、心身の成長とともに自分たちの住む地域を愛する心を持つて成長できる教育を推進することで、未来を担う人材の育成に繋がる。 よさのみらい大学を開校することにより、大人の学びの場についても提供することができた。					
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果		教育文化施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。					
	その他の成果							

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは△、目標数値を下回ったときは□、判断できないときは—を記載すること。